

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●グランアレグリアがマイルチャンピオンシップ連覇

11月21日(日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)ではグランアレグリア(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝、同レース連覇を果たしました。マイルチャンピオンシップ連覇は史上6頭目、牝馬では初のこととなります。

### ●C.ルメール騎手がJRA通算1500勝を達成

11月21日(日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)でグランアレグリアに騎乗し、1着となったクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、史上19人目、現役では9人目となるJRA通算1500勝を達成しました。7048戦目での1500勝達成で、これは武豊騎手の7875戦を上回る史上最少騎乗回数での達成となります。

### ●柴田大知騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

11月21日(日)の5回東京6日・第10レースとして行われた南武特別でマイネルステレールに騎乗した柴田大知騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上40人目、現役では26人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

### ●野中賢二調教師がJRA通算300勝を達成

11月20日(土)の5回阪神5日・第7レースではフォレストキャットが1着となり、同馬を管理する野中賢二調教師(栗東)は、現役67人目となるJRA通算300勝(延べ3003頭目)を達成しました。

### ●秋の福島競馬リーディングジョッキーは斎藤新騎手

11月21日(日)をもって2回福島競馬が終了し、6勝・2着3回の斎藤新騎手(栗東・安田隆行厩舎)が、6勝・2着2回の秋山稔樹騎手を抑えて開催リーディングジョッキーに輝きました。

### ●ディープインパクト産駒が史上最速でJRA通算2500勝を達成

11月21日(日)の5回東京6日・第3レースではグランスラムアスクが1着となり、ディープインパクト産駒のJRA通算勝利数が2500勝となりました。JRA史上2頭目の記録で、産駒初出走の日から数えて11年5か月2日での2500勝達成は、サンデーサイレンス産駒の12年0か月7日を上回る史上最速での達成となります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●メイショウカズサが浦和記念(浦和)を逃げ切って重賞2連勝

浦和記念(Jpn II、11月23日、浦和、2000<sup>円</sup>)は、逃げた1番人気のメイショウカズサ(川田将雅騎手、牡4歳、父カジノドライブ)が、3番人気のタービランス(浦和)に2馬身差を付けて完勝。ヴェルテックスが3着に入り、2番人気のウェスタールンドは4着、メイショウダジンは5着、アメリカンフェイスは7着に敗れています。

### ●兵庫ジュニアグランプリ(園田)は内から伸びたセキフウ

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月25日、園田、1400<sup>円</sup>)は、3~4番手を進み、直線半ばで内から2頭目を突いて抜け出した2番人気のセキフウ(ミルコ・デムーロ騎手、牡、父ヘニーヒューズ)が、1番人気の2戦2勝馬コンバッションの追撃をクビ差凌いでデビュー3戦目から3連勝。ネフィリムは7着、イチローイチローは8着、トモノボーイは9着でした。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は11月24日に実施され、第1戦は若杉朝飛騎手(北海道)、第2戦は菅原明良騎手(美浦)が制しました。これでトライアルラウンドは全て終了し、JRA所属では菅原明良騎手、山田敬士騎手、木幡育也騎手、原優介騎手(以上美浦)、西谷凜騎手、小沢大仁騎手、永島まなみ騎手、角田大和騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

### ●リネンファッションらが出走、12月1日のクイーン賞(船橋)

クイーン賞(Jpn III、12月1日、船橋、1800<sup>円</sup>)は、前3走牝馬限定重賞で2、2、3着のリネンファッションが中心、以下トップハンデ56.5<sup>kg</sup>のサルサディオオーネ(大井)、3歳馬ウエルドーン、プリティチャンスの順に有力視され、芝のG II勝ち馬エリザベスタワーは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ジョッキークラブマイル〜ゴールデンシックスティが15連勝

11月21日に香港のシャティン競馬場で行われたG 2ジョッキークラブマイル(3歳上、芝1600<sup>m</sup>)は単勝1.15倍の圧倒的な1番人気に支持されたゴールデンシックスティ(騾6歳、父メダリアドロ、K. ルイ厩舎)がC. ホー騎手を背に7頭立ての最後方からの追い込みを決めて優勝。今年4月のG 1チャンピオンズマイル(芝1600<sup>m</sup>)以来の休み明けを制して、一昨年9月から続く連勝を15に伸ばしました。次走は12月12日のG 1香港マイル(芝1600<sup>m</sup>)の予定です。なお、この日はほかにも香港国際競走に向けたG 2が2レース行われ、G 2ジョッキークラブスプリント(3歳上、芝1200<sup>m</sup>)はラッキーパッチ(騾5歳、父エルロカ、K. ルイ厩舎)が前走のG 2プレミアボウル(芝1200<sup>m</sup>)からの連勝を決めたほか、G 2ジョッキークラブC(3歳上、芝2000<sup>m</sup>)ではリライアブルチーム(騾6歳、父リライアブルマン、F. ロー厩舎)が重賞初制覇を果たしています。